



Information-technology
Promotion
Agency, Japan

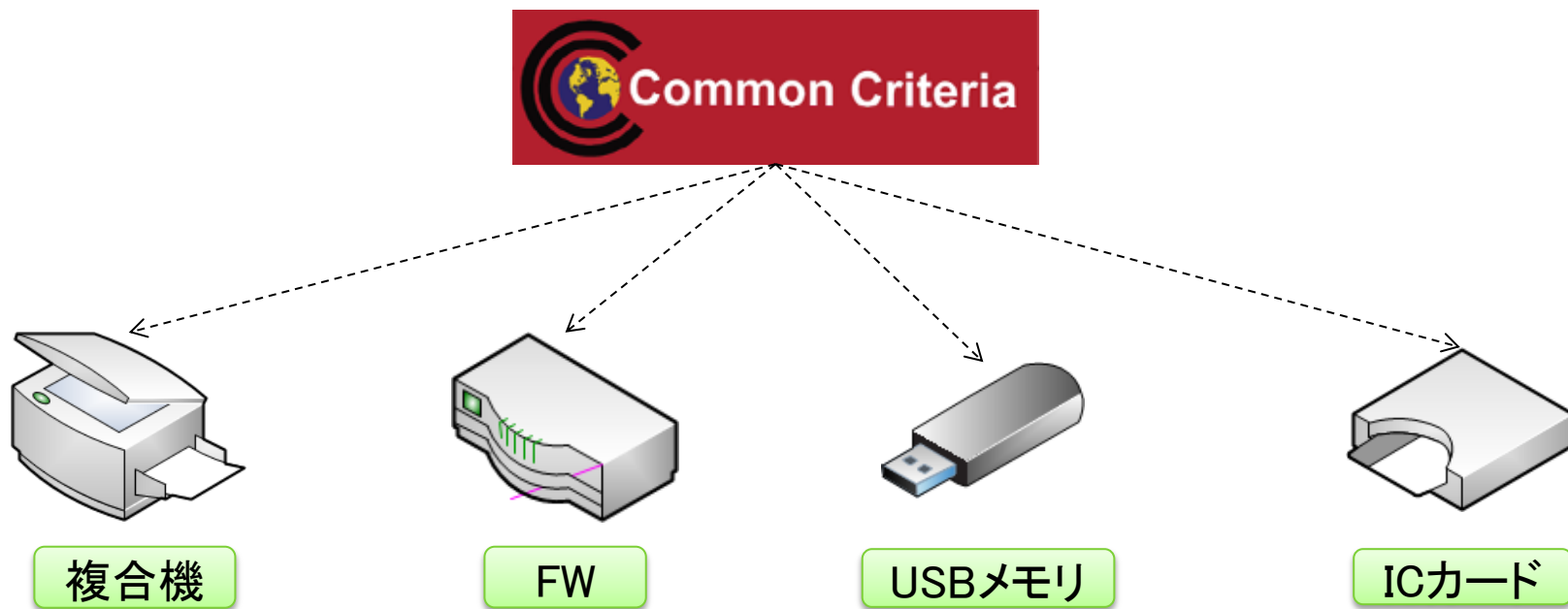
バイオメトリクス製品の評価・認証 に関する動向について

2015年6月22日

情報処理推進機構

技術本部セキュリティセンター

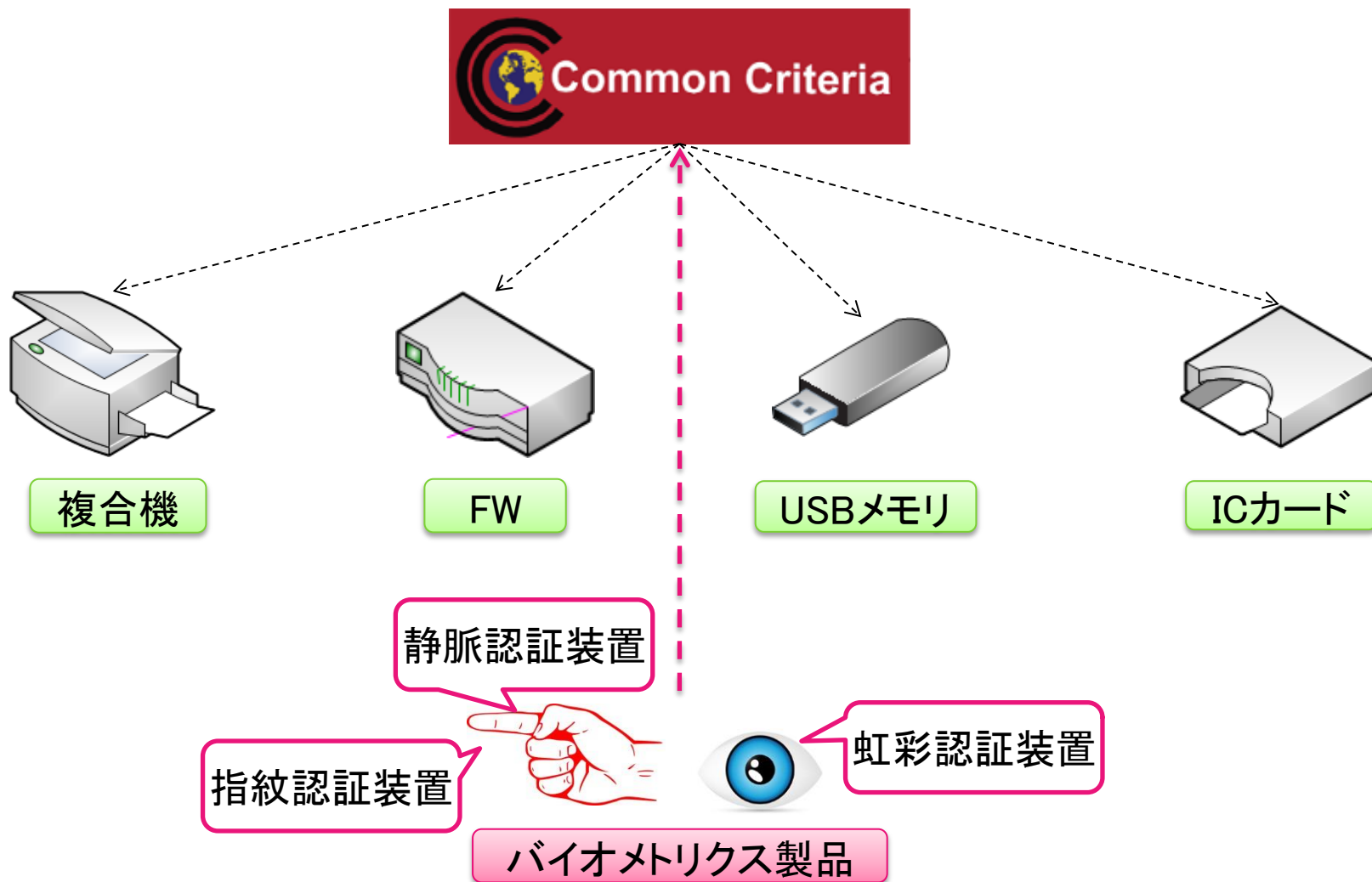
Common Criteria(ISO/IEC 15408)とは



セキュリティ機能が適切に設計され、その設計が正しく実装されていることを評価するための国際標準規格(評価基準)。

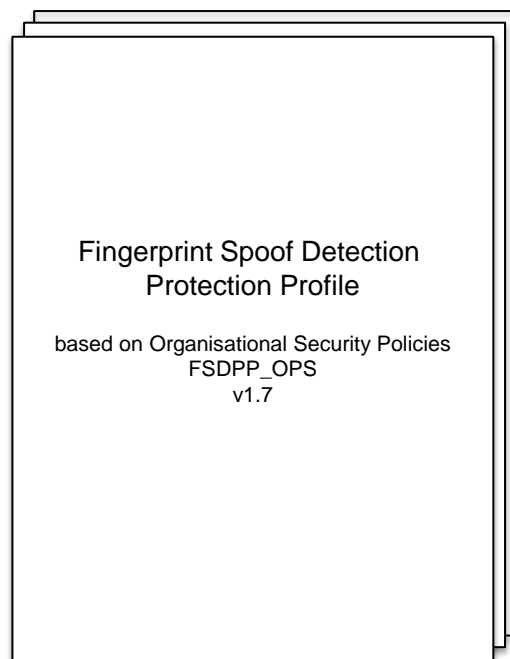
ソフトウェアだけでなく、ハードウェア、システム等も評価対象となります。

個別の製品目線でCommon Criteriaを見た場合、十分な評価基準となっているか？

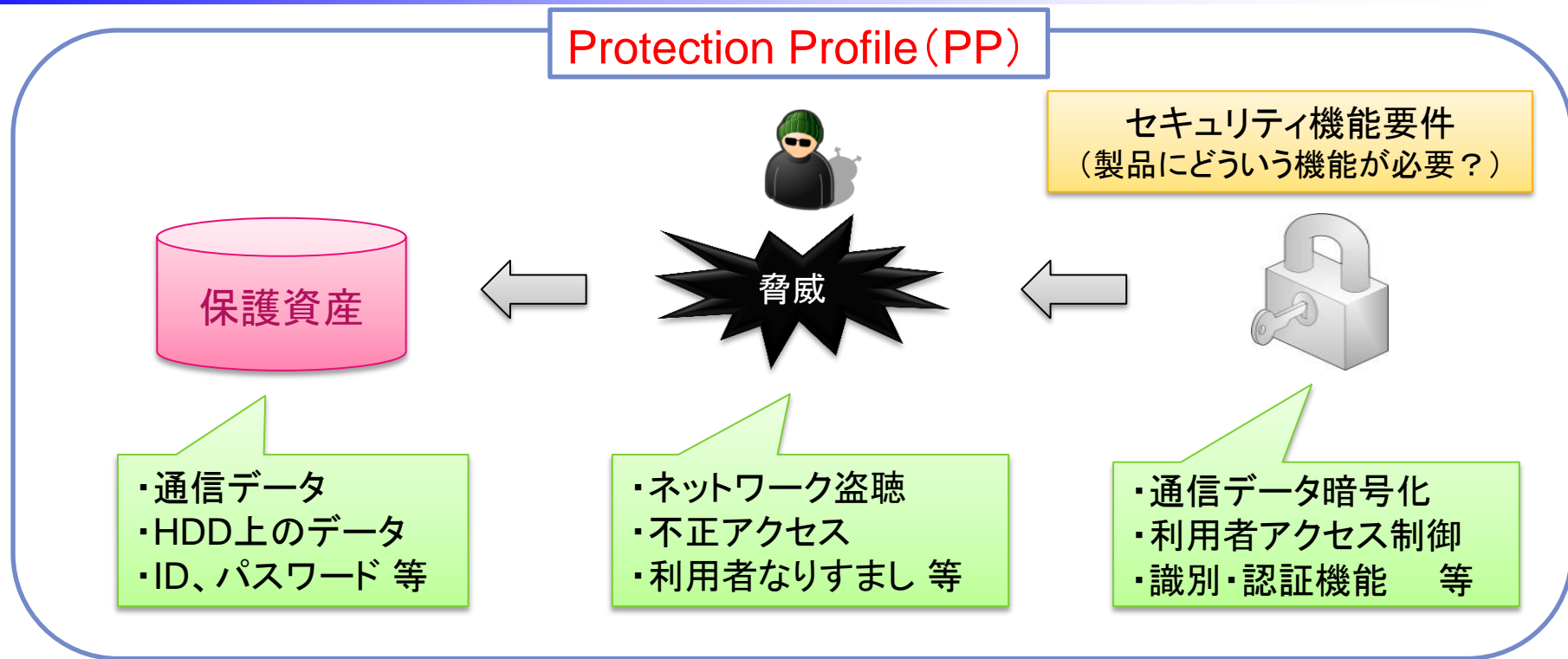


ドイツの例(指紋認証)

Fingerprint Spoof Detection Protection Profile

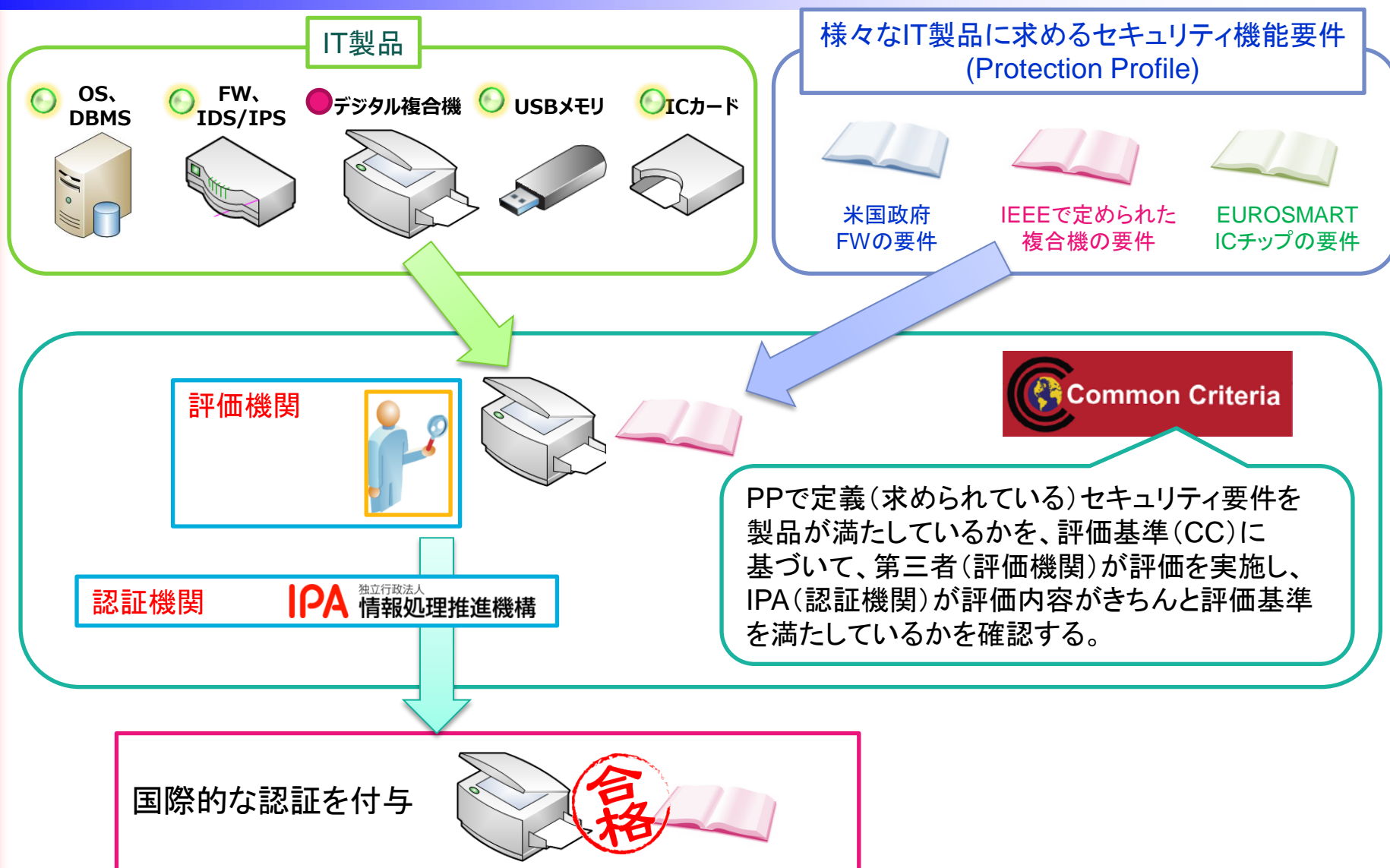


Protection Profile (PP) とは



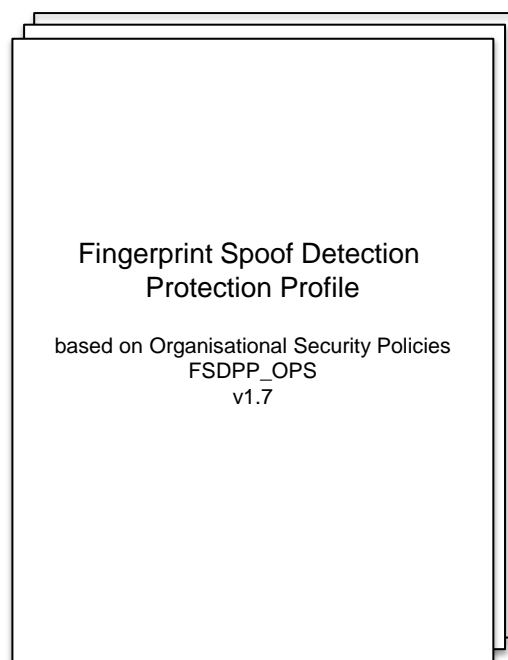
- 製品分野毎に、「保護資産」、「保護資産に対する脅威」、「脅威に対抗するため必要となるセキュリティ機能要件」等が、専門家により定義・策定されている。

Protection Profile(PP)とCommon Criteria(CC) はどの場面で使われる？



評価にはCommon Criteria 【+α】が必要

Fingerprint Spoof Detection Protection Profile



Protection Profileの中で、【+α】として以下のような文書・ツールを参照している。

①【FSDEG】:
Fingerprint Spoof Detection Evaluation Guidance

②【Toolbox】:
Standard Fake Finger Toolbox for Common Criteria
Evaluations of Spoof Detection systems
as referenced in [FSDEG]

我が国での取り組み (バイオメトリクス製品の評価・認証に関する動向)

平成26年度工業標準化推進事業委託費
(戦略的国際標準化加速事業
(国際標準共同研究開発・普及基盤構築事業:
クラウドセキュリティに資する
バイオメトリクス認証のセキュリティ評価基盤
整備に必要な国際標準化・普及基盤構築))

成果報告書

平成27年3月

バイオメトリクス認証技術に対する社会的に認知されたセキュリティ評価基準がないことで、各製品のセキュリティ性を客観的に評価できない状況を改善することを目指した事業

バイオメトリクス製品のCC認証に向け、国内に

- ①産業界が無理なく参加可能
- ②十分に有効性があり
- ③継続性のある

バイオメトリクス製品のセキュリティ評価基盤を3年間で整備することを目的している。

平成26年度は第1年度の活動として以下を取り組み

- ・PP開発及び認証取得とセキュリティ評価手法の研究
- ・脆弱性評価組織の育成
- ・精度評価ツールの開発